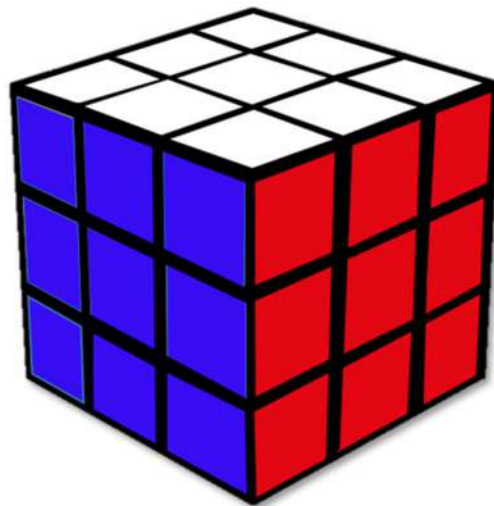


2023 年度 サービスラーニング・プログラム 募集要項

コレひとつでぜんぶが揃う！

英語学習、アメリカでのインターンシップ、名門大学での聴講
3ヶ月ですべてが叶う、とんでもない留学



サービスラーニング・プログラム

立命館アジア太平洋大学
アカデミック・オフィス
第1版
(2022年12月13日)

サービスラーニング・プログラムとは

科目概要と授業の特色について

サービスラーニング・プログラムとは、APU で行われるキャリアに関する事前・事後授業、現地で行われる言語学習と UT Austin 正規科目の聴講、サービスラーニング実習(インターンシップ等)を組み合わせ、キャリア感への形成を担うプログラムで、APU の正課科目として行われます。

派遣先では、集中的に言語学習に取り組むとともに、企業や NGO の現場でジョブ・シャドーイング(Job shadowing)*等を行い、キャリア選択の様々な視点を養うとともに、将来の進路・キャリアについて考え、学生生活における学習・獲得目標を明確にしていきます。また、学習言語を実践的に運用する機会を組み込むことで、より確実に語学力を定着させると共に、現地での暮らしを通して異文化理解能力も高めていきます。

本プログラムにおけるインターンシップ実習では、ジョブ・シャドーイング*を主とした職業体験を行います。科目名、活動内容を表す言葉として「インターンシップ」を用いますが、実際の取り組みは「エクスターンシップ**」となります。

* ジョブ・シャドーイング (Job shadowing)

『特定の職能技術の習得を目指すものではなく、職場の実際を観察することによって自らの関心や興味を再吟味する契機を提供する体験的学習としての特質を持つ、短時間の職場見学では知り得ない職業人の『働きざま』の一端に触れることそれ自体が有する教育的価値に注目した実践である。』

(藤田晃之, 2004, 「諸外国の若者就業支援政策の展開—ドイツとアメリカを中心に—」『労働政策研究報告書』No. 1, pp.108-119.)

** エクスターンシップ (Externship)

企業、NGO 等での職場体験プログラム。組織内の実務を体験・見聞することで、自らの将来像をより具体的に考えるきっかけとし、残りの学生生活で獲得すべき目標について明確にしていく。日本ではこのようなプログラムを「インターンシップ」と呼ぶのが一般的だが、アメリカでは卒業前後、仕事に就く前に行う職場体験を「インターンシップ」、大学在学中に行うものを「エクスターンシップ」と呼び区別している。(エクスターンシップでは報酬は支給されない。)

【APU】事前授業

- ・ インターンシップ科目: 目標設定、自己分析、社会人基礎力について
- ・ 英語学習: 派遣前準備



【現地実習】

- ・ サービスラーニング実習: インターンシップ等
 - *サービスラーニング実習先(実績)
地元企業、市役所、大学オフィス、NPO 団体等 (具体的な実習先は現地到着後に決定)
- ・ 英語学習: 総合的英語運用能力の向上、異文化適応能力の向上、ビジネス英語 等
- ・ 聴講



【APU】事後授業

- ・ インターンシップ科目: 到達度、キャリア選択についての考察

科目名称 / 単位 / 成績について

- ・ 「募集概要」欄を確認してください。
- ・ 単位取得には事前・事後授業も含むすべてのプログラムに参加し、良好な参加態度と課題をすべてこなすことが必須です。

履修登録および単位授与時期について

- ・ 当該科目は、海外実習が終了するセメスター(2023 年度秋セメスター)の科目として大学が登録します。
- ・ 当該科目の単位は、セメスターの履修科目登録上限単位数に含まれません。

求める学生像/プログラムのメインターゲット

- ・ 将来、自分の英語力を武器にしたキャリアパスを考えている学生。
- ・ プログラム内で提供される機会に限定せず、現地での日常生活においても、英語力を高めるよう自らの工夫、努力を惜しまない学生、また、チャレンジしてみたいと考えている学生。
- ・ 英語中級修了者（申請時履修中も可。但し、2022 年度秋セメスター終了時点で、単位修得しておく必要があります。）
- ・ 事前・事後授業も含む全てのプログラムに出席し、良好な参加態度で全課題に取り組むことができる学生。
- ・ 積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとする意欲がある学生。
- ・ アメリカ人に囲まれた環境(インターンシップ先、UT Austin 正規授業参加時)、自分自身の限界に挑戦してみたいという意欲がある学生。
- ・ 自ら道を切り開いていく意欲と実行力がある学生。

募集概要

募集時期	2022 年 12 月 13 日(火) ～ 2023 年 1 月 27 日(金) 14:00		
派遣時期	2023 年 8 月 19 日(土) ～ 同年 11 月 19 日(日) 帰国 (2023 年度秋セメスター第 2 クォーターから APU 復帰)		
派遣先大学	The University of Texas at Austin (UT Austin) ・ 1883 年創立 ・ テキサス州立大学 ・ 学生数(学部、大学院): 約 52,000 人 (学部数: 18) ・ ‘WORLD REPUTATION RANKINGS 2021 (THE 世界大学評判ランキング)’ 31 位 ‘WORLD UNIVERSITY RANKINGS 2022 (THE 世界大学ランキング)’ 47 位 (‘THE’ = Times Higher Education)		
国、地域情報	・ 米国テキサス州オースティン (テキサス州の州都) ・ 人口: 約 100 万人 (2021 年) ・ 主要産業: IT、ナノテクノロジー、バイオテクノロジーなど		
派遣先でのプログラム内容	英語学習 + インターンシップ実習 + 留学体験(正規科目聴講)の 3 要素が揃うプログラム。 ・ 英語プログラム UT Austin 付設の英語学校(ELC)での英語学習 + ビジネス英語学習 ・ インターンシップ 大学/周辺企業/NGO 等での就業体験 及び 振り返り学習 ・ 正規科目聴講 全米トップクラスの大学で授業を聴講 (1 科目/単位授与は無し)		
プログラムの流れ	2023 年度春セメスター	APU (対面)	事前授業(インターンシップ科目) 合計: 4 時限 (予定) 目標設定、自己分析、社会人基礎力、自己アピール 英語学習 合計: 4 時限(予定)(*) APU 英語教員によるインターンシップの為の英語授業 (*)単位数には換算されませんが、プログラム参加にあたって必須の授業です。
	2023 年度夏期休暇～ 2023 年度秋セメスター(第 1 クォーター)	UT Austin	英語学習 ELC 英語クラス(**) 約 170 時間 ・ 他国からの留学生と共に英語言語学習 ・ フィールド・トリップ

			(**)ELC 英語クラスはプレイスメントテストの結果を基に、各自のレベルに合ったクラスに振り分けられます。クラスは日本を含む様々な国から英語を学びに来た留学生との混合クラスです。 インターンシップ実習、関連授業 合計 約 100 時間 実習 約 92 時間 ・ 週 2 回 (4 時間 x 2 回) 振り返り、ビジネス英語学習 約 7 時間 ・ APU 学生向け授業 ・ 目標設定 ・ インターンシップ 実習振り返り ・ ビジネス英語学習等 英語能力 UT Austin 正規科目 聴講 合計 約 35 時間 ・ UT Austin 正規学生の授業を 1 科目聴講 ・ 単位授与はなし。
	2023 年度秋セメスター (第 2 クォーター)	APU (対面)	事後授業(インターンシップ科目) 合計: 4 時限 (予定) 振り返り、プレゼンテーション等
授業外 アクティビティ etc. (任意参加)	週末アクティビティ: フットボール観戦、郊外への小旅行など。 ELC/学生主催イベント: ELC 主催イベント、学生団体主催イベント等参加可 (期間中多数実施予定) ※感染症の状況や社会情勢、政府の方針等により行動制限される可能性があります。		
募集人数	定員 20 名 (最少催行人数:8 名)		
申請条件	・ 申請時(2022 年度秋セメスター)、1~6 セメスター学生(日本語基準学生を優先的に派遣) ・ 英語中級履修済み。2022 年度秋セメスターにおいて英語中級履修中の学生も申請可。但し、2022 年度秋セメスター終了時の単位修得必須。 ・ 申請時~派遣時(2022 年度秋セメスター~2023 年度秋セメスター)を通して、通常在籍状態である学生 *実践的な場で英語力を向上させたいと考えている学生の参加を推奨します。		
科目名称/ 成績 (予定)	科目名称	インターンシップ	
	開講言語	英語	
	単位数 / 評価	4 単位 / P/F 評価 成績は以下の通り付与 インターンシップ(E)科目 2 単位 インターンシップ(E)科目 2 単位 (計 4 単位)	
	科目名称	特殊講義(言語教育科目)	
	単位数 / 評価	4 単位 / P/F 評価 成績は以下の通り付与。 特殊講義(言語教育科目)2 単位 特殊講義(言語教育科目)2 単位 (計 4 単位)	
	合計単位数 8 単位 ・ セメスターの履修科目登録上限単位数に含まない ・ 上記取得単位は、2023 年度秋セメスター科目として大学が自動登録 ・ 【注意】 事前・事後授業も含むすべてのプログラムに参加し、良好な参加態度と課題をすべてこなすことが単位修得には必須である。		
	担当教員	筒井 久美子 准教授 (教育開発・学修支援センター)	

費用	【プログラムに要する費用】 (1US\$ = 137.55 円で換算/2022 年 12 月6日現在)		
	項目	内容	金額
	UT Austin プログラム費	UT での実習（英語学習プログラム / インターシップ 関連）	約 US\$ 8,520 (約 1,172,000 万円)
		UT 教材費	
		UT における VISA 申請手続き	
		宿泊 91 泊分（光熱費含）	
		オースティンでの空港-宿舎間送迎	
			事務手数料
	APU での学習授業	APU における英語学修関連費	約 6,500 円
	渡航関連	VISA 料金 及び 代行手数料	約 37,000 円
	航空運賃	日本 - テキサス州オースティン間（往復）	約 300,000 円
	保険	APU 指定海外旅行保険及び危機管理システム(J-TAS)	約 50,500 円
	大学が徴収する合計金額(概算)		約 1,610,400 円
	【別途支払いが必要なもの】		
	・ 日本国内空港までの交通費		
	・ ビザ面接に関わる大使館・領事館までの交通費用他		
・ 現地生活費 / 現地交通費 / 食費			
・ 新型コロナウイルス以外の感染症予防接種費（任意）			
・ その他 上記に記載の無いもの			
【NOTE】			
・ 上記「プログラムに要する費用」は 2022 年 12 月 6 日時点の概算(目安)。			
・ 最終金額は確定次第お知らせします。(2023 年 5 月目途)			
・ お知らせから支払い期限まで 1 カ月程度を設ける予定です。			
・ 「プログラムに要する費用」は日本円で APU への支払いとなります。			
・ APU の学費は、プログラム費とは別途通常通りの納入が必要です。			
・ 万一最終合格発表後に、やむを得ず参加辞退する場合、キャンセル料が発生する可能性があります。詳しくは、 プログラム共通事項の「6.キャンセル料について」 を参照してください。キャンセル料の算出は、以下に示す表を一般的な指針としますが、下記はあくまで目安としての概算であり、実際のキャンセル料は、辞退時点で既に発生した諸費用の総額となりますのでご注意ください。			
日程		費用（目安としての概算）	
参加決定後 ～ 2023/6/30 間に辞退した場合		約 25 万円 (プログラム費一部、VISA・渡航費等)	
2023/7/1 ～ 2023/8/10 間に辞退した場合		約 100 万円 (プログラム費一部、VISA・渡航費等)	
2023/8/11 以降に辞退した場合		プログラム費全額	
宿泊形態	・ UT が斡旋するアパート		
	・ 基本的に 1 つのフラットを 3～4 人でシェア。		
	・ フラット設備は以下の通り。 ベッドルーム: 各人のベッドルームにシャワー、トイレ完備 キッチン、リビング: 3～4 人で共同使用		
	・ ルームメイトは APU 学生、UT Austin 正規学生、UT Austin に留学している国際学生、日本を含む国々出身の ELC 学生。		
	・ 特別な理由で個室利用を希望する場合、プログラム担当者にお問い合わせください。		

申請方法

申請期間中に、以下の申請を行ってください。

申請期間: 2022 年 12 月 13 日(火)～2023 年 1 月 27 日(金) 14:00

[Off-campus Study Program サービスラーニング Web ページ](#)からオンライン申請ページにアクセスしてください。

オンライン申請ページは申請期間開始と同時に公開されます。

複数回提出した場合、提出日が新しいものを受け付けます。

オンライン申請のプロセスで、以下が必要になります。予め準備の上、申請してください。

- ・ パスポートの顔写真ページ、申請用顔写真のアップロード
- ・ 志望理由や将来のキャリアビジョンに関するエッセイ

パスポートについて

現在持っているパスポートが以下有効期限を満たしていない場合、速やかに更新手続きをしてください。

国籍	有効期限
日本国籍	2023 年 12 月 3 日
外国籍	2024 年 5 月 20 日

パスポート未取得の場合、2023 年 2 月末までに取得できるよう申請方法を調べて取得してください。

パスポートコピー/顔写真のアップロードについて

ファイルは、以下の例に習ったファイル名で保存した上で、アップロードしてください。

パスポート: Passport_氏名_学籍番号 (例: Passport_YamadaTaro_11223344.pdf)

顔写真: Photo_氏名_学籍番号 (例: Photo_YamadaTaro_11223344.pdf)

【注意事項】

プログラムへの参加が決定した場合、以下の書類をオンライン提出していただきます。申請の時点で、必ず保証人・経費支弁者の同意を得た上で申請してください。

- ・ **誓約書**: 申請者本人、及び保証人両者の直筆署名が必要です。
- ・ **経費支弁書**: 経費支弁者の直筆の署名が必要です。申請者本人が経費支弁者の場合、申請者本人が記入・署名してください。

募集ガイダンス日程

- 2022 年 12 月 14 日(水) 3 限 12:30~13:30
- 2023 年 1 月 11 日(水) 5 限 16:10~17:10
- Zoom MTG ID: 986 3358 3045

選考方法

志望理由書を重視した書類審査、面接審査、英語力審査等による総合的な選考を行います。

選考期間および選考結果発表

各審査日程(予定)は以下の通りです。

- 面接審査に進む方へは、書類審査結果発表時に面接日時も合わせてお知らせします。
- 面接審査は 30 分程度を予定しています。冬セッション受講以外で面接日時を変更することはできません。
- 面接審査を無断で欠席した場合、受講意思が無いものと見なします。

書類審査結果発表	2023 年 2 月 2 日(木)
面接審査 (Zoom で実施)	2023 年 2 月 6 日(月)~2 月 8 日(水)
選考結果発表	2023 年 2 月 9 日(木) キャンパス・ターミナル「あなた宛の重要なお知らせ」を通して通知。
受講者ガイダンス (Zoom で実施)	2023 年 2 月 15 日(水) 4 限 合格者は参加必須。

参加における注意事項

【注意】基本的な注意事項は巻末添付「[プログラム共通事項](#)」に記載しているため、必ず確認した上で申請してください。以下には本プログラム独自の参加条件を記載していますので、熟読した上で応募を検討してください。

1. 経費

プログラムに要する費用

- ・プログラム参加にはプログラムに要する費用を支払う必要があります。[P.4「費用」欄](#)を参照してください。
- ・プログラムに要する費用(円建て)は、2023 年 5 月以降、確定次第お知らせします。お知らせから支払い期限までは 1 カ月程度を設ける予定です。
- ・奨学金が支給される場合も、一旦、支払い期限までにプログラム費の全額を支払う必要があります。

保険

- ・個人で既に加わっている場合も、APU が指定する海外旅行保険、JCSOS 危機管理システム(J-TAS)等への加入が必要です。保険加入に関する詳細は、受講者ガイダンスで説明します。

2. 参加者において必要な手続き等

航空券・渡航

- ・航空券は大学が手配します。
- ・支払方法、フライトスケジュールについては、受講決定後にお知らせします。
- ・航空経路は日本出国・日本帰国とし、他参加者と共に渡航・帰国します。現地集合、現地解散はできません。また、渡航スケジュールは本学が指定し、個人都合による行程の変更はできません。

査証(ビザ)

- ・米国 J-1 ビザの取得が必要です。
- ・ビザ申請は大学が一括して取りまとめ、指定のビザ代理申請会社を通じて申請します。
- ・J-1 ビザ取得には、米国大使館又は領事館で面接を受ける必要があります。※新型コロナウイルス感染状況によって、面接が実施されない場合もあります。詳細は参加決定後にご案内します。
- ・参加決定後に行われるビザ・ガイダンス(2023 年 4 月上旬予定)にて、ビザ申請書類、パスポート(原本)等を提出していただきます。余裕を持って、期限が有効なパスポートを準備してください。
- ・ビザは、国籍、その他様々な事情により取得が困難な場合もあります。万が一ビザが取得できない場合は、プログラム参加不可となり、その場合、参加不可に関わる一切の費用(キャンセル料金等)は学生本人の負担となります。
- ・【国際学生のみ】プログラム実施国のビザ以外に、日本の在留許可期限及び再入国許可の期限も確認してください。在留許可期限の更新・再入国許可について分からないことがあれば、スチューデント・オフィスで確認してください。

予防接種

- ・受講者ガイダンスにて、APU ヘルスクリニックが推奨する予防接種の種類等を案内します。予防接種は必須ではありませんので、接種するかどうか各自判断してください。接種を希望する場合は、各自ヘルスクリニックで受診の手続きを行ってください。

3. 免責事項・注意事項

新型コロナウイルスに係る注意事項

- ・新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、派遣中止判断を行う可能性があります。
- ・派遣中止や中断、内容の変更があった場合、本学および派遣先にいかなる費用も請求せず、キャンセル費用等を負担する必要があります。
- ・派遣中止になった場合、プログラム開始後でも成績ならびに単位は付与されません。
- ・規制がかかりアメリカへ入国できない可能性や、入国のために別途費用が発生する可能性があります。その際に発生する費用は、原則自己負担となります。
- ・プログラムへの参加が決定した場合、新型コロナウイルスワクチン接種については、①3 回ワクチンを接種している、もしくは②派遣終了日が 2 回目のワクチン接種日から半年以内であることを参加条件とします。また、2023 年4月末までに「海外渡航者用接種証明書」を取得・提出する必要があります。※本条件は今後国内外の情勢の変化により、改訂される可能性があります。

派遣中止について

- ・新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、派遣中止判断を行う可能性があります。

(添付) [プログラム共通事項「4.派遣の中止や内容の変更、参加の取り消し」](#)参照)

- ・ 派遣中止や中断、内容の変更があった場合、本学および派遣先にいかなる費用も請求せず、キャンセル費用等を負担する必要があります。
- ・ 派遣中止になった場合、プログラム開始後でも成績ならびに単位は付与されません。

プログラム中止判断基準

- ・ 現地派遣可否の判断は 2022 年 11 月下旬に行います。
- ・ 現地派遣中止判断日もしくはそれ以降の現地実習開始までに、調査実習地が外務省危険情報レベル 2 以上になった場合、現地派遣・実習を中止します。
- ・ 現地実習中にレベル 2 以上に引き上げられた場合、教学部と担当教員が協議した上で帰国判断を行います。

(添付) [プログラム共通事項「4.派遣の中止や内容の変更、参加の取り消し」](#)参照

海外実習時における注意事項

- ・ 本プログラムの実習期間中に、プログラムの当事者 (APU、派遣先大学、現地機関) 以外の第三者 (組織、個人、ホームステイ先等) による不法行為が原因で本人に事故や損害が生じた場合、本人が訴訟、それに関わる対応等の責任を負わなければなりません。プログラム当事者 (APU、派遣先大学、現地機関) はその責任を負いません。
- ・ 感染症の状況や社会情勢、政府の方針等により行動制限される可能性があります。また、感染症その他安全管理については十分に注意してください。

履修登録における注意事項

- ・ **履修可能 / 不可科目について**

2023 年度秋 semester は、履修科目登録が可能なクォーターとできないクォーターがあります。

万一、誤って履修不可の科目を登録するなどの問題が判明した場合も、履修削除等の特別配慮は行いませんので注意してください。

	semester 開講科目	第 1 クォーター 開講科目	第 2 クォーター 開講科目	2023 年度 夏セッション科目	2023 年度 冬セッション科目
2023 年度春	○	○	○	○	-
2023 年度秋	X	X	○	-	○

○: 履修登録可能 / ×: 履修登録不可

3 回生、4 回生演習科目(ゼミ)の履修について

申請 semester 時 (2022 年度秋 semester)、3~6 semester の方で、演習科目(ゼミ)の履修を希望する方は、必ずアカデミック・オフィスに相談してください。

(申請時 (2022 年度秋 semester) 5 semester で派遣時 (2023 年度秋 semester) 7 semester になる学生は、担当教員に事前相談の上、派遣中の遠隔指導の了承を得る必要があるが、派遣期間中の卒業研究科目履修を認める。)

英語準上級単位を未修得の場合について

本プログラムに参加する学生が 2023 年度春 semester 終了時に英語準上級 A/B の単位が未修得の場合、2023 年度秋 semester に当該科目を再履修することはできず、2024 年度春 semester に履修することになります。その場合、大学が履修科目登録 A 期間 (2024 年 3 月) に科目登録します。

奨学金

日本学生支援機構(JASSO) 留学生交流支援制度 奨学金

本プログラムは日本学生支援機構(JASSO)の奨学金受給対象となる予定です。対象となった場合、受給を希望する学生で所定の成績(GPA)及び家計基準等を満たした学生は奨学金を受給することができます。受給額は 8 万円/月、計 24 万円となる予定です。(変更となる場合があります。)

奨学金の受給を希望する場合は、2022 年 12 月 21 日(水)にアカデミック・オフィス HP「留学のための奨学金制度」ページに募集要項と申請フォームが公開される予定ですので、よく読んで上で期間内に申請してください。

- 申請期間: 2023 年 1 月 13 日(金)~1 月 27 日(金) 14:00

- 合格発表: 2023 年 2 月 9 日(木)

- アカデミック・オフィス HP「留学のための奨学金制度」

<https://www.apu.ac.jp/abroad/support/scholarship/>

今後のスケジュール

日程	内容
2022 年	
12/13(火)～ 2023/1/27(金)14:00	募集期間
12/14(水) 12:30～14:10	募集ガイダンス（1 回目）Zoom MTG: 986 3358 3045
2023 年	
1/11(水) 16:20-17:20	募集ガイダンス（2 回目）Zoom MTG: 986 3358 3045
1/27(金) 14:00	募集締切り
2/2(木)	書類審査結果、面接日程発表
2/6(月)～8(水)	面接審査
2/9(木)	最終選考結果発表
2/15(水)4 限	受講者ガイダンス（科目概要等）
2/28(火)	パスポート画像 提出期限 対象：申請時未提出者、パスポート更新対象者
4 月上旬	受講者ガイダンス（ビザ・ガイダンス） 事前授業（1 回目）（予定）
4/30(日)	海外渡航者用新型コロナウイルス ワクチン接種証明書 提出期限
5 月	受講者ガイダンス（予防接種、保険等） プログラム費、海外旅行保険/J-TAS 危機管理システム費支払い 出発前英語研修（1 回目）（予定） 事前授業（2 回目）
6 月クォーターブレイク	VISA 面接（福岡 or 大阪）
6 月	事前授業（3 回目） 出発前英語研修（2/3 回目）（予定）
7 月	事前授業（4 回目） 出発前英語研修（4 回目）（予定）
7 月中～下旬	危機管理授業
8/19(土)	日本出発（同日現地着）
9 月下旬	APU 2023 度秋 semester 履修登録（各自）
11/18(土)	現地出発（翌 19 日(日) 日本帰国）
12 月下旬	事後授業（1～2 回目）（予定）
2024 年	
1 月	事後授業（3～4 回目）（予定）
2 月	派遣先大学より Transcript 受理、単位認定
3 月	成績発表

*上記以外にも各種ガイダンスが行われる場合があります。詳しくは参加決定後に案内します。

サービスラーニング・プログラムに関する問い合わせ先

- ・ アカデミック・オフィス B 棟 1 階
- ・ TEL 0977-78-1101 / FAX: 0977-78-1102
- ・ 担当者: アカデミック・オフィス 下村、伊東、井戸沼
Email: atfs@apu.ac.jp

プログラム共通事項

1. 査証(ビザ)

出発から帰国までに必要となるビザを確認の上、学生本人の責任で申請してください。必要となるビザは、学生の国籍や派遣国・地域、滞在期間などによって異なります。必要となるビザ(トランジットビザを含む)および必要書類等は各大使館のホームページ等で各自確認してください。なお、ビザ申請要件は予告無しに変更される場合がありますので、最新情報を入手するようにしてください。オンアライバルビザ(On-arrival Visa)での参加は、ビザ発給国の定めにより渡航前にビザを取得できない場合以外は原則認められません。

万一、所定の期日までにビザが取得できない場合は、派遣・留学は取り消しとなります。また、派遣・留学開始時期の変更等は行いません。

その際にかかるキャンセル料は、参加者の負担となります。負担するキャンセル料と成績については「免責事項・留意事項」に準じて取り扱います。

【国際学生のみ】

プログラム実施国のビザ以外に、日本の在留許可期限及び再入国許可の条件を確認してください。在留許可期限の更新・再入国許可について分からないことがあれば、スケジュール・オフィスで確認してください。

注意) プログラムによってはビザの申請を代行会社に委託している場合があります。詳細はプログラム担当者に確認してください。

2. 保険

個人で既に加わっている場合も含め、APU 及び派遣先大学が指定する国内・海外旅行保険、JCSOS 危機管理システム(J-TAS)等への加入が必要です。保険加入に関する詳細は、事前授業又は参加者ガイダンスで説明します。

3. 予防接種

事前授業又は参加者ガイダンスにて、APU ヘルスクリニックが推奨する予防接種の種類などを案内します。ヘルスクリニックが推奨する予防接種は必須ではありませんので、接種するかどうか各自判断してください。接種を希望する場合は、各自ヘルスクリニックで受診の手続きを行ってください。

ただし派遣先によっては予防接種が必須になる場合があるため、ガイダンス内の指示に従ってください。

4. 派遣の中止や内容の変更、参加の取り消し

① 次の条件に当てはまる場合は、教学部長が学生派遣の中止を判断します。

- 1) 派遣先国・地域についての外務省の危険情報がレベル 2 以上である場合。ただし、新たな感染症の蔓延等により、感染症危険情報が発令された場合は、状況に応じて判断する。
- 2) 社会情勢を鑑み、プログラムを安全に実施できないと考えられる場合
2-1) 中止判断にあたり留意されることは、実習先での天災・災害・ストライキ・伝染病・現地情勢の変化・交通機関の運航状況・現地医療状況・戦争・テロ・引率者の怪我や急病及びそれに類する事象・危機発生時の派遣先機関における派遣学生への支援内容・その他不可抗力に起因する事態が発生した場合等が想定されます。
- 3) 派遣先大学が、渡航を伴う APU からの学生受入中止を判断した場合

② 以下のいずれかに該当する場合、合格発表後であっても、参加者のプログラム参加が取り消されることがあります。なお、交換留学、ダブルディグリープログラム、短期サマー/ウィンタープログラムを除くプログラムについては、参加を取り消された場合、成績は原

則として「F」評価となります。

- A) 参加態度・出席状況などを勘案し、受講不相当と判断された場合
- B) 選考結果発表後、懲戒処分の対象となった場合
- C) 指定の海外旅行傷害保険などに加入しない場合や、書類の提出を怠る、必要なガイダンスに参加しないなど大学の指示に従わない場合
- D) 負傷・病気等で留学が適当でないと大学が判断した場合
- E) 不正行為を行った場合
- F) その他学生としての本分に反した場合

- ③ 受講が取り消された時点で既に発生している費用については、学生本人が費用を支払う必要があります。

5. 選考結果発表後の辞退について

本学は皆さんがプログラム申請をした時点で受講の意思があるものとして選考を行います。従って、選考結果発表後の辞退は原則認められません。

申請する際は、事前にプログラム内容をよく確認し、辞退することのないよう準備を行ってください。なお、期日内に大学が指定した費用の支払いがない場合は辞退したものとして扱います。キャンセル料については、次項「6. キャンセル料について」を参照してください。単位付与があるプログラムの場合、辞退した者の成績評価は原則として「F」評価となります。

6. キャンセル料について

選考結果発表後に辞退せざるを得ない状況が生じた場合、辞退する学生は、その時点までに発生した費用を支払わなければなりません。キャンセル料には、銀行手数料(海外送金手数料等)も含まれます。

既にプログラムに要する費用を大学に納入済みの場合、キャンセル料を差し引いた差額を返金します。返金手続きは、一定時間を要します。

7. 履修計画について

本プログラムによる履修科目・修得単位数が、卒業までの履修計画において問題がないか、十分に確認してください。選考結果発表後に問題が判明した場合および「4. 派遣の中止や内容の変更、参加の取り消し」に記載している事象が発生した場合も、特別な配慮等はしません。自己責任において、プログラムの応募を行ってください。

注意) 講義内容が同じプログラムに複数回参加することはできません。

申請を希望するプログラムが、すでに修得済みのプログラムの内容と同一かどうか不明な場合は、事前にアカデミック・オフィスにお問い合わせください。

8. 個人情報の取扱いについて

詳細は、合格者あてにお送りする誓約書を参照してください。

9. プログラム参加にあたって

- ① プログラムでの経験が有益なものになるかどうかは、参加者自身の姿勢や努力が大きく左右します。海外で異文化を受け入れる柔軟性や積極的な学習姿勢を持つことが必要です。各自でプログラムの参加目的をしっかりと定めてください。なお、派遣前後に行う事前/事後授業やガイダンスへの出席は必須です。無断欠席は認めません。その他、書類や課題などの提出期日は必ず守ってください。
- ② プログラム参加中は「プログラムに参加するにあたっての遵守事項(誓約書)」および「Off-campus Study Program へ参加する学生のための危機管理ガイドライン」を遵守してください。

2022年度 立命館アジア太平洋大学 Off-campus Study Programに参加するにあたっての

遵守事項(交換留学、ダブルディグリー・プログラム、EXPLORE、APU グローバルリサーチプログラム、短期サマー/ウィンタープログラムを除く)

1. 基本姿勢

立命館アジア太平洋大学 Off-campus Study Program(以下「プログラム」という。)に参加する学生は、次の点を遵守しなければならない。

- (1) プログラムの目的と主旨を理解し、積極的に真面目な態度で勉学に励まなければならない。
- (2) 立命館アジア太平洋大学(以下「本学」という。)の学生として自覚と誇りを持って、本学および派遣先大学・機関(以下「派遣先」という。)の名誉を傷つける行動は慎まなければならない。
- (3) プログラム期間中は、日本の法令および本学の諸規則の他、派遣先の国・地域の法令および諸規則を遵守し、本学および派遣先の教職員の指示に従わなければならない。
- (4) 遵守事項に反する事態を生じさせた場合は、本プログラムへの参加取消・帰国措置を命じられても、異議を申し立ててはならない。

2. 健康管理等

- (1) 健康管理は、自らの責任で行うこと。
- (2) 渡航前に、本学が指定する海外旅行傷害保険および危機管理支援システム(J-TAS)等へ加入すること。(海外プログラムのみ)
- (3) 既往症等ある場合は、申し出ること。
- (4) 「Off-campus Study Program参加学生 健康状況および学習面における支援自己申告書」を提出すること。
- (5) 傷病等により入院加療の医療措置が必要となった場合は、すみやかに本学および派遣先に報告するとともに教職員の指示に従うこと。ただし、これらの措置に必要な費用の内、保険の補償限度額超過分については、本人が負担すること。
- (6) 緊急に医療手当または手術の必要が生じ、本人または保証人の同意を得る時間的猶予がない場合は、本学もしくは派遣先の教職員または医師の判断によって処置することに同意すること。
- (7) 本学もしくは派遣先の教職員によって医療行為が必要と判断された状況下で、自らの意思で受診をしなかった場合、如何なる問題が起こったとしても本学、派遣先はその責任を負わない。

3. 経費および補償

- (1) プログラムに要する費用(実習費・宿泊費・交通費・保険料等)は、指定の期日までに納入すること。
- (2) 募集要項に定める所定の期日後に、本人の傷病、処分等の理由によってプログラムへの参加または継続ができなくなった場合、または辞退した場合には、必要経費(派遣先から本学に請求された必要経費を含む)を負担すること。
- (3) 天災・災害・ストライキ・伝染病・現地情勢の変化・交通機関の運航状況・現地医療状況・戦争・テロ・引率者の怪我や急病及びそれに類する事象・その他不可抗力に起因する事態によって、プログラムの中断や内容の変更があった場合、本学および派遣先にいかなる費用も請求せず、3. (2)と同様の費用を負担すること。
- (4) 本人の不注意または本学および派遣先が管理できない状況下で、事故、病気または死亡事故が発生した場合、本学および派遣先に対して何等の金銭的またはその他の責任を問わないこと。
- (5) 本人の所有物の盗難や損害、交通事故、刑事事件等が本学および派遣先が管理できない状況下で発生した場合は、本人の責任で対応しなければならないこと。
- (6) 故意または過失により、第三者または本学に損害を与えた場合は、賠償の責を負わなければならないこと。
- (7) プログラムの実習期間中に、本学、派遣先以外の第三者団体、個人、ホームステイ先等による不法行為が原因で本人に事故や損害が生じた場合、本人が訴訟やそれに関わる対応等の責任を負わなければならない。本学、派遣先はその責任を負わない。

4. 入国・帰国 (海外で実施されるプログラムのみ)

- (1) プログラム実施期間前に個人で入国してはならない。
- (2) プログラム実施期間終了後は、速やかに帰国しなければならない。派遣先国の滞在期間延長は、認められない。
- (3) (1)および(2)の規定にかかわらず、本学が必要と認めたプログラムにおいては、本学が事前のガイダンスで指定する方法により、日本出国日および日本帰国日を事前に大学に申告するとともに、自己責任で現地集合し、帰着するものとする。

5. 誓約書の提出

上記事項を理解し、本人および保証人による誓約書を提出すること。

誓 約 書

私は、下記プログラムに参加するにあたり、募集要項・シラバスおよび別紙の遵守事項を理解し、各事項を厳守し、誠実に履行することを、ここに誓約します。申請書やその他提出書類に記載した個人情報(氏名、性別、生年月日、その他本プログラムに係り大学へ提供した情報)は、プログラム参加手続および本学が管理・運営に関する業務の目的のために、本学内で使用されること、また、第三者(派遣先大学・機関、旅行代理店、査証取得代行会社、保険会社、危機管理サポート会社、宿泊施設、関係国(日本、参加学生の母国、派遣国)の在外公館及び政府機関)に提供されることに同意します。

本人記入欄

日付 _____

学生本人署名 _____ ※「描画」で署名(入力不可)

学籍番号 _____

参加プログラム サービスラーニング・プログラム (派遣先大学: テキサス州立大学オースティン校)

学部 (APM / APS)

回生 (1 / 2 / 3 / 4 / その他)

郵便番号 〒 _____

住所 _____

※入力した住所に誤りが無いかを再度ご確認ください

保証人記入欄

■私は、募集要項・シラバス及び別紙の遵守事項を本人に遵守させるとともに、これに反することによって生じた一切の事項について責任を持つこととします。また、プログラム参加において本人が負担する一切の債務については、プログラムに要する費用を限度額として保証いたします。

日付 _____

保証人署名 _____ ※「描画」で署名(入力不可)

郵便番号 〒 _____

住所 _____

※入力した住所に誤りが無いかを再度ご確認ください

電話番号 _____

本人との関係 _____

※保証人欄は、父母・身元引受者等が記載してください。

【以下のいずれかに該当する場合、保証は無効であるため、プログラム参加によって生じる一切の債務は、学生自身が負担することとなります】

- ・ 本人または保証人の署名がそれぞれの当人による直筆でない場合、または、両人の記入欄における筆跡が同一人物のものであると判断される場合
- ・ 友人や知人などが保証人になっているなど、その保証能力に欠けると本学が判断する場合
- ・ 記入欄に未記入箇所がある場合
- ・ その他、内容について虚偽の疑いがある場合

経費支弁書

- ※ 全ての項目を経費支弁者本人が入力・署名してください。
※ 学生本人が経費を支弁する場合は学生本人が入力・署名してください。

プログラム名称	サービスラーニング UT Austin プログラム 2022 年度秋セメスター募集 (派遣時期: 2023 年 8-11 月)		
プログラム 参加学生 氏名		学籍番号	

私()は、上記の者のサービスラーニング・プログラム参加に関して、下記のとおり経費を支弁することに同意します。また、派遣先国の留学ビザを申請する際に、経費支弁に関する証明書の提出を求められる場合があることを了承します。

経費支弁者について

氏名	
学生との関係	
住所	〒
電話番号	

※住所の入力間違いが多く発生しています。入力した住所に誤りがないかを再度ご確認ください

記

1. サービスラーニング・プログラム費 (募集要項参照)
2. 日本/派遣国間の往復渡航費
3. 保険料 (APU 指定海外旅行傷害保険および危機管理支援システム(J-TAS)費)
4. その他留学に関わる諸費用 (査証費および査証取得に関わる費用、教材費、予防接種費、生活費、交通費、食費他)

署名(経費支弁者) _____ ※「描画」で署名(入力不可)

署名日 _____